

第12回 災害対策研修会のお知らせ

(第1回 PTOTST 合同災害対策研修会)

2023年11月1日
公益社団法人 神奈川県理学療法士会
事務局 災害対策部
部長 下田 栄次

2023年も世界各地で、自然災害が頻発しています。国外では「トルコ・シリア大地震」が発生し、サイクロンや大型台風による風水害も各地で発生しています。平時より何らかの支援や配慮が必要となる、介護を要する高齢者、障がい児・者や難病患者、そして子供や乳幼児、妊産婦は、災害時要配慮者（要配慮者）と位置付けられています。要配慮者への支援に関する共通の課題として、一時期に支援が偏重および重複し、特に介護が必要な高齢者や障がい児・者、難病患者への支援が遅延し、二次的な弊害を増やしている現状にあります。原因の1つに、避難所と福祉避難所との一体的な連携に課題があり、災害時の保健医療と福祉の連携が不十分である点が挙げられています。小・中学校や公民館が主に利用される避難所、公共施設や自治体と協定を締結している社会福祉施設が主に利用される福祉避難所では、整備状況や災害時の運営等に関して十分な検討が行われていない施設も多いのが実情です。そのようななか、政府は、令和4年7月に「大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について」を発出し、保健医療のみでは福祉分野の対応ができず、これまで以上に保健・医療・福祉の連携が重要であることを踏まえ、従来の保健医療調整本部を「保健医療福祉調整本部」と名称を改めました。災害時における保健医療と福祉の連携は、喫緊の課題として捉えられています。神奈川県における災害時の福祉支援として神奈川 DWAT（Disaster Welfare Assistance Team：災害派遣福祉チーム）が設置され、本会もチーム員として参加しています。また災害時の保健医療福祉支援体制の充実に向けて、神奈川県の3士会による合同の研修会としての取り組みも始めていきたいと考えています。

【概要】

- 主催：公益社団法人神奈川県理学療法士会
 - 運営：公益社団法人神奈川県理学療法士会 事務局 災害対策部
 - 日時：2024年1月20日（土）10:00～13:30（受付開始09:30～）
 - 会場：横浜水道会館
 - 目的：神奈川県における災害時の福祉支援体制からリハビリテーション専門職として行う支援について検討する
 - 対象：公益社団法人神奈川県理学療法士会各会員およびリハビリ関連職種
 - 定員：100名（先着順）
 - 参加費：無料（事前申し込みのみ） 会員外、OT、ST、他職種、当日参加：500円（資料代として）
※（公社）日本理学療法士協会会員の方「マイページ」より申し込みください。
- セミナーID：119398
- テーマ：「神奈川県における災害時の福祉支援体制 - 災害時のリハビリテーション支援について -」

【講師】

神奈川県福祉子どもみらい局 福祉部 地域福祉課 地域福祉グループ
「神奈川県における災害時の福祉支援体制（神奈川 DWAT の設置経緯など）」
神奈川県理学療法士会 事務局 災害対策部
神奈川県作業療法士会 制度対策部 災害対策事業班
神奈川県言語聴覚士会 災害リハビリテーション対策室

【タイムスケジュール】

10:00 ～ ご挨拶 (公社)神奈川県理学療法士会 副会長 松本 肇
10:10 ～ 11:10 講義①「神奈川県における災害時の福祉支援体制」
11:10 ～ 11:20 講義① 質疑応答・ディスカッション 10分休憩
11:30 ～ 12:00 講義②-1「災害と理学療法士との関りについて」
12:00 ～ 12:30 講義②-2「災害と作業療法士との関りについて」
12:30 ～ 13:00 講義②-3「災害と言語聴覚士との関りについて」
13:00 ～ 全体を通じたディスカッション
閉会挨拶 (公社)神奈川県理学療法士会 事務局 災害対策部

【参加申し込み】

下記の必要事項をご記入の上、本会会員の方は日本理学療法士協会マイページから、
会員外の方、他職種の方：問い合わせ先のメールアドレスに下記の必要事項をご記入の
上、申し込みください。

① 氏名 (ふりがな) ② 所属 ③ 職種

※作業療法士、言語聴覚士の方：各所属の士会にご確認ください。

E-mail : eiji.shimoda@sums.ac.jp (問い合わせもこちらへお願いします)

<本研修会に関するお問合せ先>

神奈川県理学療法士会 事務局 災害対策部 下田栄次

E-mail : eiji.shimoda@sums.ac.jp